

今後の練習のご案内

11月27日 (日)	12:00 ~ 15:00
12月11日 (日)	12:00 ~ 15:00
12月25日 (日)	12:00 ~ 15:00
1月8日 (日)	12:00 ~ 15:00
1月22日 (日)	12:00 ~ 15:00

千寿本町小学校 スリッパ持参

参加費:1000円 マスク着用

お仲間を増やしましょう

先月から新しい曲を練習しています。

お友達やずっとお休みしている仲間にお声をかけて、あだちフレンズハーモニーの仲間を増やしましょう。

春のふれあいコンサートの演奏を聞くことができます。

今年4月の春のふれあいコンサートでの演奏をyoutubeで聞くことができます。当団のホームページの「過去の演奏」というページから「アメリカン・フィーリング、悪女（20

22年 春のふれあいコンサート)」というところを選んでください。

春のふれあいコンサート

来年2023年4月9日(日)

西新井文化ホールで、春のふれあいコンサートが開催されます。当団も出演します。

演奏曲は、今練習している「さくら」「つぐない」です。予定しておいてください。

また、10回の練習で4月9日に披露する「春のふれあい合唱団」の次期(2023年)の運営委員合唱団が当団となります。

曲目は「砂山」(中山晋平作曲、田辺先生の編曲)、「野口雨情メドレー」(陶山先生の編曲)です。練習日は1月21日～の土曜・日曜。

参加費 3000円。

こちらも是非、お友達を誘ってご参加ください。

陶山先生から

皆さん、こんにちは。

日に日に寒くなって行きますが、お元気ですか？

ところで、皆さんは「白黒写真のカラー化」ってご存知ですか？

最近、テレビなどで、昔の白黒の映画やフィルムをカラーにして再現しているのを見たことがあると思います。

確かに素晴らしい技術なのですが、例えば小津安二郎や黒澤明の白黒映画をカラー化してみると、何だかとても白けてしまいます。

あの時代の映画は白黒だ、白黒の方が良いのだ、それを売り物にしているのだ、と思っているからでしょう。水墨画をカラーにした感じがして、とても違和感があります。

あの当時の映画監督は、水墨画で映画を撮っていたようなものなので、そこに僕達の想像力を働かせる余地があったのに、カラー化されてしまうと、幻滅です。

一方、NHKの「映像の世紀」などは、昔のフィルムがカラー化されて、例えばヒトラーの動画なども生き活きとしてとても面白いです。

ところで、最近では昔撮った白黒写真を自宅のパソコンで簡単にカラー化することができます。スマホでもできるんです。

少し前までは、写真をパソコンに取り込むにはスキャナーという機械が必要でしたが、スマホは簡単にできます。その写真をスマホでまた写真に撮るだけです。

そしてアプリを検索して「白黒写真のカラー化」のアプリを入れるだけです。とっても簡単に昔の白黒写真がカラー写真になります。

人の肌の色や髪の色はともかく着ていた服の色までどうやって復活されるのかは全く分かりませんが、赤のセーターならちゃんと赤くなります。ぜひ試してみてください。

面白かったのが、僕と映った祖父の昔の写真があるのですが、祖父はただの白髪だったのですが、カラー化したらお洒落なロマンスグレー、というか茶髪になってました。スマホが気を利かせてくれたのでしょうか。

まあ、こういったハプニングはありますが、カラー化する事で、自分でも想像できなかつたくらい、びっくりするくらい鮮やかに蘇ります。ただし・・・、今の若者は全く無駄ですよ。なにしろ、生まれた時からすでに、白黒写真というものを知らないのだから。昭和40年代後半に生まれた人あたりから、「白黒写真」の実感が無くなるそうです。

では、今日も楽しく歌いましょう。

田辺先生から

皆さま、こんにちは。お元気ですか？

合唱祭が終わって早1か月。

まず合唱祭の感想。みなさん本番はいつも良いですね。練習通りに歌えていて、さらによく声が出ていたと思います。合唱祭など演奏する機会があることは目標になってよいですね。これからも頑張りましょう！

今年も残すところ50日ちょっと。スーパーではもうお正月飾りや鏡餅が陳列されてました（驚！）。

そして明日は立冬だそうです。冬の気配が立ち始めるというのが言葉の由来らしいです

ね。立冬にちなんだ「〇〇の日」というのも多いですよ。

ココアを飲んで温まって欲しいということで「ココアの日」。立冬にはトンカツを食べて活力をつけようということで「とんかつの日」。

鍋を囲んで爛を酌み交わしながら身も心も温まって欲しいということで「鍋と爛の日」。身体を温め消化がよいということで「夜なきうどんの日」。湯たんぽの温かさが恋しくなる頃にちなんで「湯たんぽの日」。

「いい（11）お（0）な（7）か」の語呂合わせで「いいおなかの日」「腹巻きの日」・・・色々ありますね～。たしかに心も体も温まるものは身体にもよいですね。私は寝起きに白湯を飲んでます。体温が上がり血行が良くなり、眠っていた胃腸が刺激されるらしいです。

歌もお腹から声を出せば、有酸素運動になりますよね～。立冬に歌を歌って心も体も温かくしましょうなんていかがでしょうか？

（笑）。

食べ物・健康ネタ以外には「いい（11）おんな（7）」の語呂合わせで「いい女の日」というのもあるらしいです。

さて、今月も元気に歌いましょう。

発声のお話

ハミングを見直そう

「ハミングって鼻歌なの？」「改めて考えると自分のハミングってこれでいいの？」

初心に返ってハミングのやり方を説明。

ハミングは唇を閉じたままMを発音します。

① 舌と口内の天井をくっつけてM～と声を出して見ましょう。

② 舌と口内の天井を離して、イメージは「モー」と声を出しているつもりでM～と出して見ましょう（唇は閉じているので「モー」には聞こえません）

① と②、どちらが響きますか？

その時、鼻腔に声が響きます。これがハミングです。

もう1つのハミングのやり方は、唇を閉じたままN～と声を出して見ましょう。

M～との違いは舌先がどこにあるのか？です。

「M～」は舌先は下の歯あたりにあると思います。

「N～」は舌先を上歯の後ろにつけます。

（作曲家や指揮者によってはこの状態で唇を開ける指示を出す場合もあります。）

どちらにしても、一番大切なのは、鼻腔に声を響かせるということです。

何故、鼻腔に響かせるのか？人間の鼻腔というのは広い空間があるのです。

そこに声を響かせると、無理のなく声が響きます。

今度からハミングをする際は、鼻腔に響いているか今まで以上に気かけましょう。

団長のお話

合唱祭が終わって、ほっとしましたね。久しぶりの舞台はやはり緊張もしますが、満足感もあります。

先日富士山五合目から下ってきたクラブツーリズムが雇ったバスが横転し乗客の1名が亡くなる事故がありました。

私も過去に同様の体験をしたことがあります。大学を出てプラスチック類の加工会社に入社し半年後に埼玉県蓮田市にある工場に配属になりました。

数年たったころ毎年の社員旅行がありその年は日光見物でした。一泊してバス3台で帰途に就きました、総勢150名程度だったと思います。観光バスですから車掌(バスガイド)もいます。私の乗ったバスには工場長以下の幹部も乗っていました。

他の2台には若いバスガイドが乗りましたが、自分のバスガイドは愛想のない中年バスガイドでした。皆でアンラッキーとつぶやいていました。いろは坂の中ほどまで来たときバスが急に早くなり運転手は必至でハンドルを左右に切っていました。急なスピードアップに驚き若い女性社員の1人は失神しました。その時中年バスガイドが身体を運転手にぶつけてハンドルを山

側に切り側溝にタイヤを嵌めて漸く止まりました。全員ほっとしたところで皆バスガイドに拍手しました。私が今ここにいるのもあのガイドのお陰です。いろは坂は反対側が崖になっていて再度ハンドルを切ったら転落は免れなかったでしょう。下りでフットブレーキを多用すると加熱してフェード現象を起こします。エンジンプレーキで減速が基本です。

静岡の運転手は26歳で経験が浅く、まして初めてのコースです、ベテランが同乗してアドバイスすべきでした。

会社の管理不行き届きです。若い運転手がかわいそうだと思います。

2022年10月21日記

岩崎昌光

ホームページ

あだちフレンズハーモニーのホームページには、過去の「月刊あだフレ」、今後の練習日、音取り音源(youtube)、過去の演奏等が載っています。

また練習日記には、その日に練習した内容が載っています。復習に是非ご活用ください。

<http://adafre.web.fc2.com/index.html>

月刊あだフレ 第161号 2022. 11. 6発行



AFH